

ノーマライゼーションかしわプラン2024策定に向けたアンケート調査全設問  
(市民向けアンケート)

No.	対象者	形式	設問	選択肢
本人属性				
1	全員	択一	あなたの性別をお答えください。	1. 男 2. 女 3. 答えたくない
2	全員	択一	あなたは何歳ですか。 (2022年4月1日現在)	1. 18~29歳 2. 30~39歳 3. 40~49歳 4. 50~64歳 5. 65~74歳 6. 75歳以上
興味・関心				
3	全員	択一	あなたは障害福祉に関する次の用語を知っていますか。以下のそれぞれについてお答えください。	1. 「用語の意味や内容は概ね知っている」 2. 「用語は聞いたことがある」 3. 「用語を聞いたことがない」
			(1) ヘルプマーク, またはヘルプカード	
			(2) ほじょ犬 (盲導犬, 介助犬, 聴導犬を含む)	
			(3) ノーマライゼーション	
			(4) 地域共生社会	
			(5) 障害者差別解消法	
			(6) 成年後見制度	
			(7) インクルーシブ教育	
			(8) 医療的ケア (医ケア)	
(9) ノーマライゼーションかしわプラン				

No.	対象者	形式	設問	選択肢
4	全員	複数	あなたは障害福祉・障害のある人についてどこかで知る・学ぶ機会がありましたか。	1. 学校で学んだ 2. 職場で学んだ 3. テレビやインターネットなどで見た 4. 書籍や雑誌などで読んだ 5. 障害福祉関係のイベントや講座などに参加した 6. ボランティア活動に参加した 7. 障害者やその家族と交流した 8. その他 9. 特になかった 10. わからない
5	全員	択一	あなたは障害福祉・障害のある人に関心がありますか。	1. 関心があり、何らかの形で行動に移している 2. 関心はあるが、特に何もしていない 3. 関心はない 4. わからない
6	問5で「関心がある」（「1」及び「2」）を選択	複数	あなたが障害福祉・障害のある人に関心を持ったきっかけは何ですか。	1. テレビやインターネット、書籍等で見聞きした 2. 自分や家族・友人など身近な人に障害がある 3. 学校生活で見かけた、または関わった 4. 職場で見かけた、または関わった 5. 街なかで見かけた、または関わった 6. 障害福祉関係のイベントや活動に参加した 7. 自分や家族・友人などが福祉関係の仕事をしている、またはしたいと思っている 8. ボランティア活動をしている、またはしたいと思っている 9. 将来自分や家族が障害のある状態になった時のため 10. その他 11. 特にきっかけはない 12. わからない
障害者に対する意識				
7	全員	自由記載	あなたは「障害者」と聞いてどんな印象を持っていますか。	

No.	対象者	形式	設問	選択肢
8	全員	択一	障害のある人に対する偏見や差別は社会全体としてあると思いますか。	1. あると思う 2. 少しはあると思う 3. どちらとも言えない 4. あまりないと思う 5. ないと思う 6. わからない
9	問8で「1. あると思う」「2. 少しはあると思う」を選択	複数	どんな場所や場面で障害のある人に対する偏見や差別があると思いますか。	1. 幼稚園・保育園・認定こども園・こどもルーム 2. 学校などの教育機関 3. 勤務先 4. 障害福祉サービス事業所 5. 交通機関（鉄道、バス） 6. 公共施設（図書館、児童センター、スポーツ施設等） 7. 市役所や保健所（相談窓口等） 8. 公園・広場 9. 店舗（飲食店、商業施設、金融機関等） 10. 選挙 11. 近所 12. 病院などの医療機関 13. 住まい探し（不動産会社） 14. その他 15. わからない
10	全員	択一	障害のある人に対する偏見や差別をあなた自身が持っていると思いますか。	1. あると思う 2. 少しはあると思う 3. どちらとも言えない 4. あまりないと思う 5. ないと思う 6. わからない
障害者との交流				
11	全員	複数	あなたは障害のある人との関わりや交流がありますか、または、ありましたか。	1. 家族や親戚、友人など身近に障害者がいる、またはいた 2. 近所に障害者がいる、またはいた 3. 学校で一緒に勉強している、またはした 4. 職場で一緒に働いている、または働いた 5. 地域のボランティア活動で交流している、または交流した 6. その他の機会に交流している、または交流した 7. 関わったことはない
12	全員	択一	あなたは街なかで困っているように見える障害のある人がいたら、声をかけますか。また、障害のある人から声をかけられたらどうしますか。	1. 自ら声をかけるし、声をかけられても対応する 2. 自ら声はかけないが、もし声をかけられたら対応する 3. 自ら声はかけないし、声をかけられても関わらない 4. わからない

No.	対象者	形式	設問	選択肢
13	全員	択一	あなたは障害のある人に関するボランティア活動に参加したことがありますか。	1. 現在, 参加している 2. 参加したことがある 3. 参加したことはないが, したいと思う 4. したいとは思わない 5. わからない
14	問13で「4.したいとは思わない」「5.わからない」以外	複数	ボランティア活動に参加するためには何が必要だと思いますか。	1. ボランティア活動に関する情報や説明会 2. ボランティア活動の体験 3. 職場の理解 4. 時間的余裕 5. 家族の協力 6. 家庭や社会の理解 7. その他 8. 特にない 9. わからない
障害者の地域移行				
15	全員	択一	国は障害のある人もない人も地域の中で暮らせるように方針を打ち出しています。あなたは障害のある人が施設ではなく、地域の中で暮らすことをどう思いますか。（最も当てはまるものを一つ選んでください）	1. 地域の中で暮らすことは良いと思うし、自分の近所に障害のある人が暮らすことに抵抗はない 2. 地域の中で暮らすことは良いと思うが、自分の近所に障害のある人が暮らすことには抵抗がある 3. 地域の中で暮らすことは良いことだと思わない 4. わからない
16	問15で「抵抗がある」(「2」)「暮らすことは良いことだと思わない」(「3」)を選択	2つまで	あなたが障害のある人が自分の近所に暮らすことに抵抗がある、あるいは地域の中で暮らすことは良いことだと思わない理由は何ですか。（当てはまるものを2つまで選んでください）	1. 障害のある人のことが分からないから 2. 自分とは関係ないから 3. どう接していいかわからないから 4. 関わるのが面倒だから 5. 施設での暮らしの方が本人にとって良いと思うから 6. なんとなく不安だから 7. その他 8. わからない

No.	対象者	形式	設問	選択肢
全体を通して				
17	全員	3つまで	市では国の方針を受け、障害のある人も地域で自分らしく暮らすことができる社会づくりに取り組んでいます。あなたは市が障害福祉について、今後力を入れるべきことは何だと思いますか。（当てはまるものを3つまで選んでください）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自立や社会参加を促す支援を充実させる</li> <li>2. 障害理解・啓発活動を充実させる</li> <li>3. 地域住民と障害者との交流の機会を充実させる</li> <li>4. 障害者が受けられるサービスを充実させる</li> <li>5. 地域の中に身近な相談窓口を充実させる</li> <li>6. グループホームなど暮らしの場所を充実させる</li> <li>7. 手当や医療費の助成など経済的な援助を充実させる</li> <li>8. 幼稚園、保育園、学校等で、障害のある人がともに同じ場所で学べるよう支援や環境整備を充実させる</li> <li>9. その他</li> <li>10. 現状で十分、特に必要ない</li> <li>11. わからない</li> </ol>